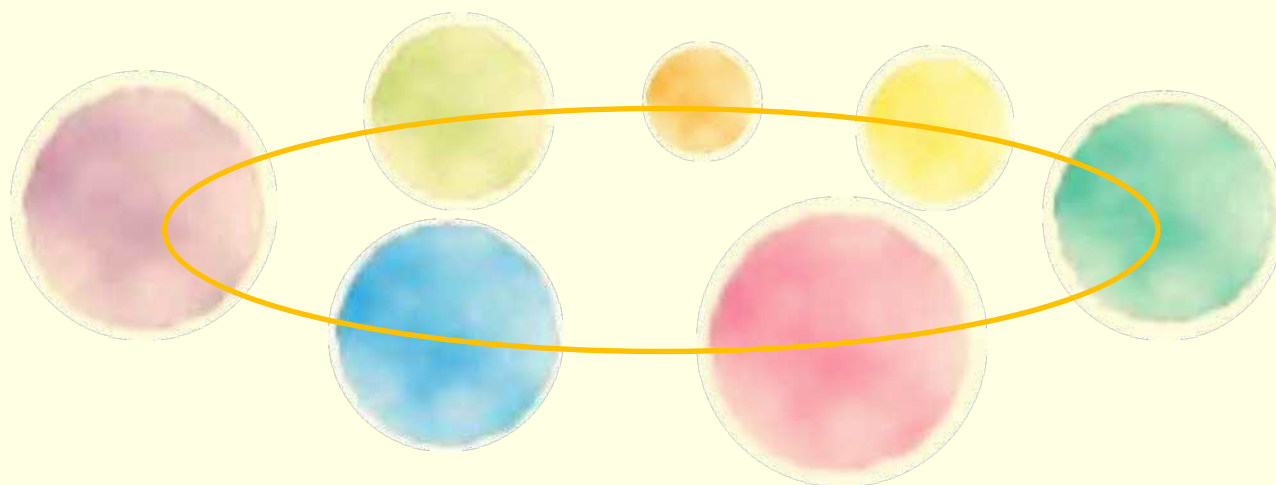


ワークショップの集計データ



令和5年1月24日（火）18:00～19:30@安平公民館



安平地区の未来を考える

ワールドカフェの振り返り



▷生活福祉部会ワークショップ

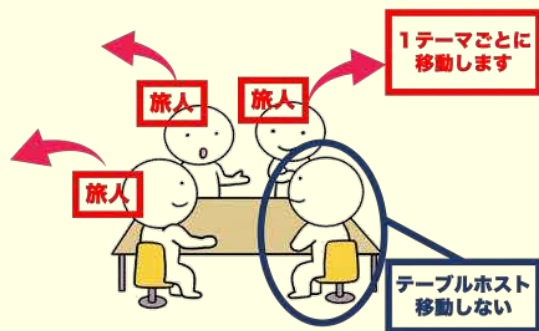
令和4年12月6日（火）18:00～20:10

参加者：13名

▷交流活性化部会ワークショップ

令和4年12月7日（水）18:00～20:10

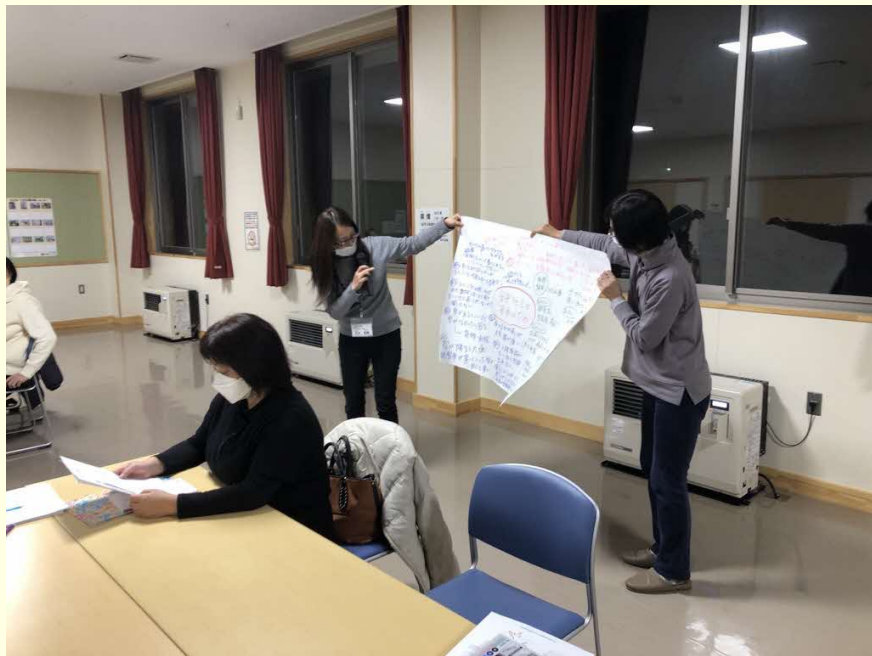
参加者：15名



《テーマ》

- ①安平地区の課題や困りごと
- ②安平地区に必要なこと、もの、あったらいい
- ③地域運営組織の立ち上げやプランづくりの進め方

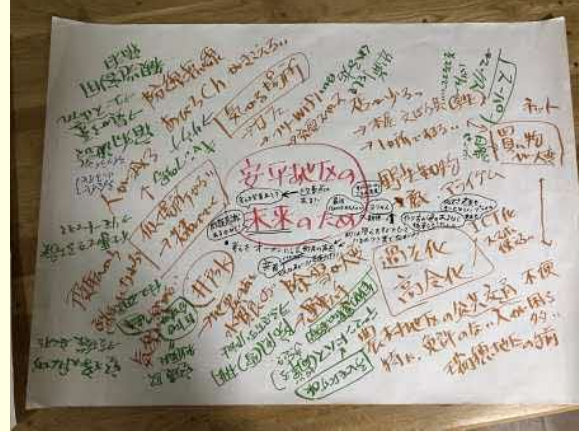
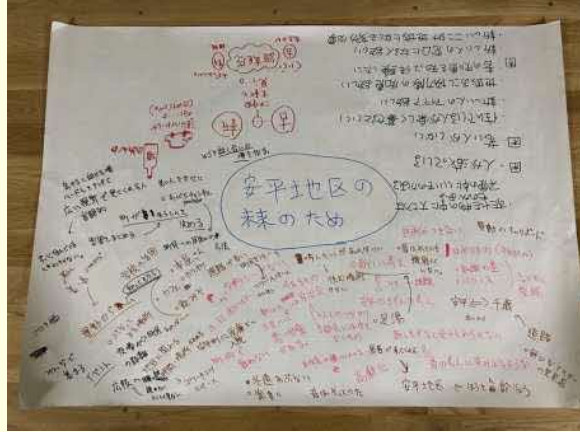
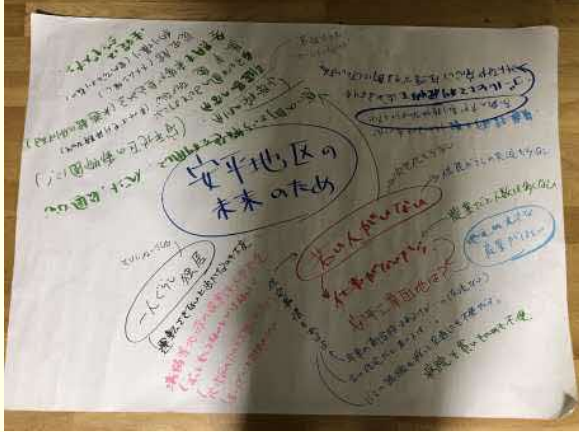
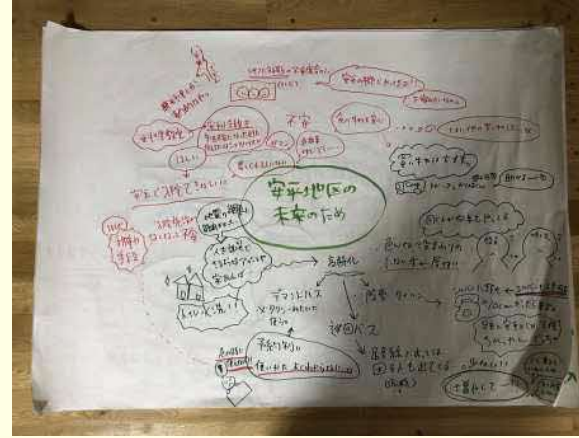
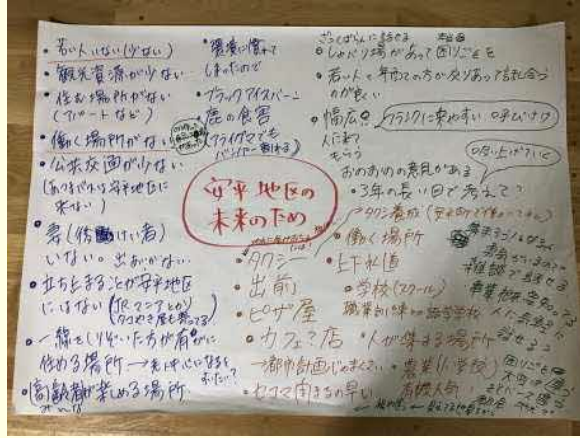
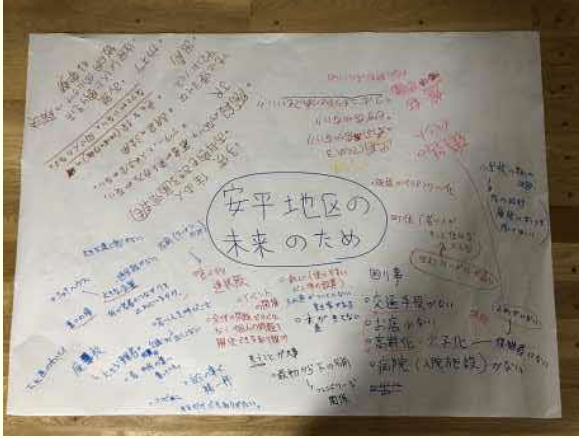
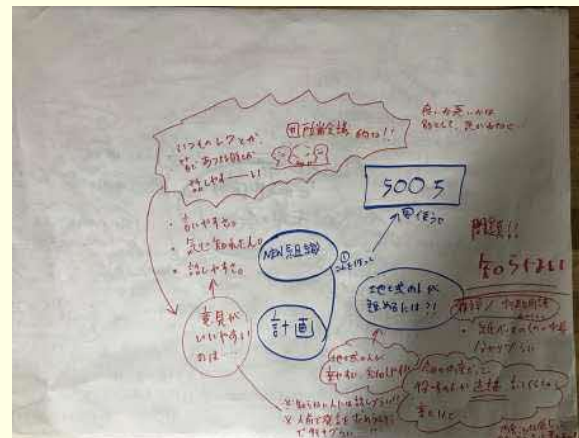
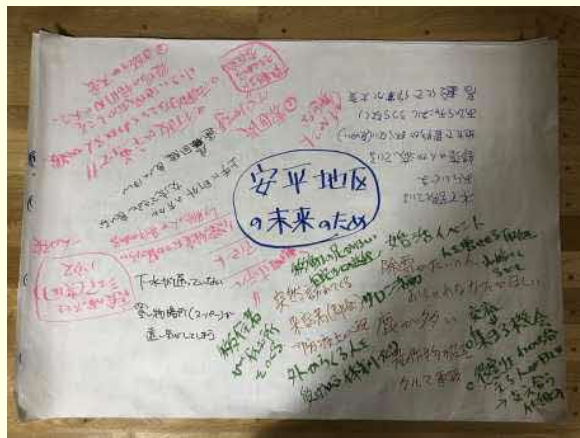
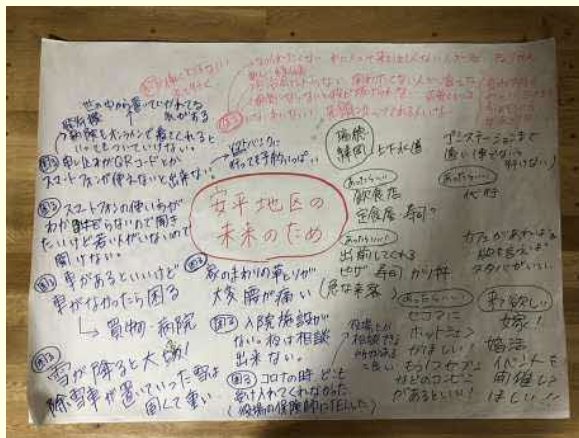
前回の振り返り① 生活福祉部会@令和4年12月6日（火）18:00～20:10



前回の振り返り② 交流活性化部会@令和4年12月7日（水） 18:00～20:10



前回の振り返り③ 2日間のワールドカフェの成果物 (模造紙)



安平地区の未来を考える地区別計画ワークショップの集計方法

① 模造紙を全て文字起こし

安平地区 地区別計画ワークショップ まとめ

- ・上士幌町ではじめて自動運転バスの運行。

■テーマ3:今後予定している地域運営組織の立ち上げやプランづくりを、どのように進めると良いと思うもの

・地域の課題解決のやり方や考え方は、人それぞれで、自分たちでまとめるのは大変なので、いままでのように行政でも

- ・安平地区
- ・反対の意見
- ・住民間

安平地区 地区別計画ワークショップ まとめ

- ・地域の年寄りから子どもまで、みんなが気軽に楽しめるような、住民同士が身近に感じられるイベントを行ってほしい。
- ・これから移住者に住んでもらうには公営住宅だけでは不足なし、色々条件があって入居するのが大家と聞いているので、廃校をホテルやアパートにして活用できると良いと思う。
- ・高齢になり、不良などの危険

安平地区 地区別計画ワークショップ まとめ

R4.12.7 水 ホ

■テーマ1:安平

- ・過疎化と少子
- ・安平地区には
- ・地域に人がい
- で、嫁世代の
- ・除害作業がの
- 者に聞くと、人
- ・農家はトラク
- で運転する
- できない。
- ・野生動物(ア
- ・瑞穂や緑丘な
- ・店舗が少ない
- ・買い物が大変
- ・スマホや電子
- つけないお年
- ・農村地区は
- ってしまったり
- ・防災無線、あ

■テーマ2:安平

- ・空き家に住ん
- ・空港、港、都
- 空(空き家)が
- ・移住希望者
- ・地域住民(少
- 備)がある
- ・廃校を利用
- てお買い物を
- ・一目で気づく
- ・出前(ピザ、チ
- ・農村地区の
- ・簡単な手続
- ・ことも違っ

■テーマ3:今後予定している地域運営組織の立ち上げやプランづくりを、どのように進めると良いと思うもの

- ・コロワカウチの接履や公共交通の利用、介護サービスなど、日々の暮らしの事をひとつずつするにも、地域の住民は、その手続きをするのに精一杯、こうした手続きのことで困っている人が身近にいてくれることが安心だし必要。
- ・安平地区のような小さな地域だと、自分たちの生活で精一杯なところがあるので、暮らしのことに関しては、役場職員の情報力や影響力は大きいし、地域のこともある程度は行政が把握している現状を考えると、地域はおんぶにだっこになるという意味ではなく、役場が主導して、地域の課題に合わせ、少しずつついでに、地域住民と一緒に、この取組みを進めてくれる方がと思う。
- ・何か気づいて、難しいけど新しい取組むよりも、気軽に来てもうったり、会話ができたり出来る雰囲気づくりが大事。

② 課題で分類して集計 (※話題性) →A3の配布資料

安平地区 地区別計画ワークショップの意見集計表(項目別)

開催日時(参加人数):1回目…令和4年12月16日(木曜日) 18:00~20:10 (13人)
2回目…令和4年12月27日(水曜日) 18:00~20:10 (15人)
集計方法(考え方):「フリーワード」のキーワードから抽出した意見(上)と集計した意見(下)をフリーワードのキーワード、キーワード/話題による分類の順で掲載しています(1項目につき2項目の意見のみを掲載しています)。
(※同じキーワードを複数回抽出している項目も掲載しています)※抽出した意見によってフリーワードで抽出した意見の件数を表すことで話題性の高い(課題性が高い)課題を抽出しています。

※同じキーワードを複数回抽出している項目も掲載しています

大項目	中項目	課題		備考	目標(あったらいいもの、こと)
		小項目	件数		
移動	アマンドバス	2	2	2	→簡単な手続きで乗れるアマンドバスが欲しい
		2	2	2	→簡単な手続きで乗れるアマンドバスが欲しい
	2	2	2	→簡単な手続きで乗れるアマンドバスが欲しい	
	2	2	2	→簡単な手続きで乗れるアマンドバスが欲しい	
生活	巡回バス	1	1	1	→巡回バスが少ないけど利用できない
		1	1	1	→巡回バスが少ないけど利用できない
	1	1	1	→巡回バスが少ないけど利用できない	
	1	1	1	→巡回バスが少ないけど利用できない	
地域の人々の交流でできる集計	集まる機会と場所がない	4	4	4	→集まる機会と場所がない
		4	4	4	→集まる機会と場所がない
	市街地と農村住民の交流が	1	1	1	→市街地と農村住民の交流が
		1	1	1	→市街地と農村住民の交流が
自然現象(気象)	除害作業が不安	3	3	3	→除害作業が不安
		3	3	3	→除害作業が不安
	除害作業が不安	3	3	3	→除害作業が不安
		3	3	3	→除害作業が不安
自然現象(動物)	野生動物の被害	3	3	3	→野生動物の被害
		3	3	3	→野生動物の被害
	野生動物の被害	3	3	3	→野生動物の被害
		3	3	3	→野生動物の被害
人口動態	少子高齢化で人口減	13	13	13	→少子高齢化で人口減
		13	13	13	→少子高齢化で人口減
	少子高齢化で人口減	13	13	13	→少子高齢化で人口減
		13	13	13	→少子高齢化で人口減
住居	農村部の広大な空き地に空き家	4	4	4	→農村部の広大な空き地に空き家
		4	4	4	→農村部の広大な空き地に空き家
	農村部の広大な空き地に空き家	4	4	4	→農村部の広大な空き地に空き家
		4	4	4	→農村部の広大な空き地に空き家
仕事	安平町/地区に働く場所がない	4	4	4	→安平町/地区に働く場所がない
		4	4	4	→安平町/地区に働く場所がない
	安平町/地区に働く場所がない	4	4	4	→安平町/地区に働く場所がない
		4	4	4	→安平町/地区に働く場所がない
生活	上下水道	2	2	2	→上下水道を確保してほしい
		2	2	2	→上下水道を確保してほしい
	防災無線	1	1	1	→防災無線がほしい
		1	1	1	→防災無線がほしい
移動	巡回バス	1	1	1	→巡回バスが少ないけど利用できない
		1	1	1	→巡回バスが少ないけど利用できない
	巡回バス	1	1	1	→巡回バスが少ないけど利用できない
		1	1	1	→巡回バスが少ないけど利用できない
移動	巡回バス	1	1	1	→巡回バスが少ないけど利用できない
		1	1	1	→巡回バスが少ないけど利用できない
	巡回バス	1	1	1	→巡回バスが少ないけど利用できない
		1	1	1	→巡回バスが少ないけど利用できない

【ポイント①】

グループワークは「ワールドカフェの手法」で開催したため集計した件数は人数からの件数ではなく、グループワーク中にて各テーブル、各タームで「**話題に上がった課題の件数**」を、1回目と2回目のワークショップ両日から抽出してカテゴライズをおこない集計したもの。

(同じ人がテーブルを移動して、同じ話題で話をしていることが想定されるので、話題に上がってグループ内で話された課題の全件数を抽出することで「**話題性が高い課題**」を項目として集計)

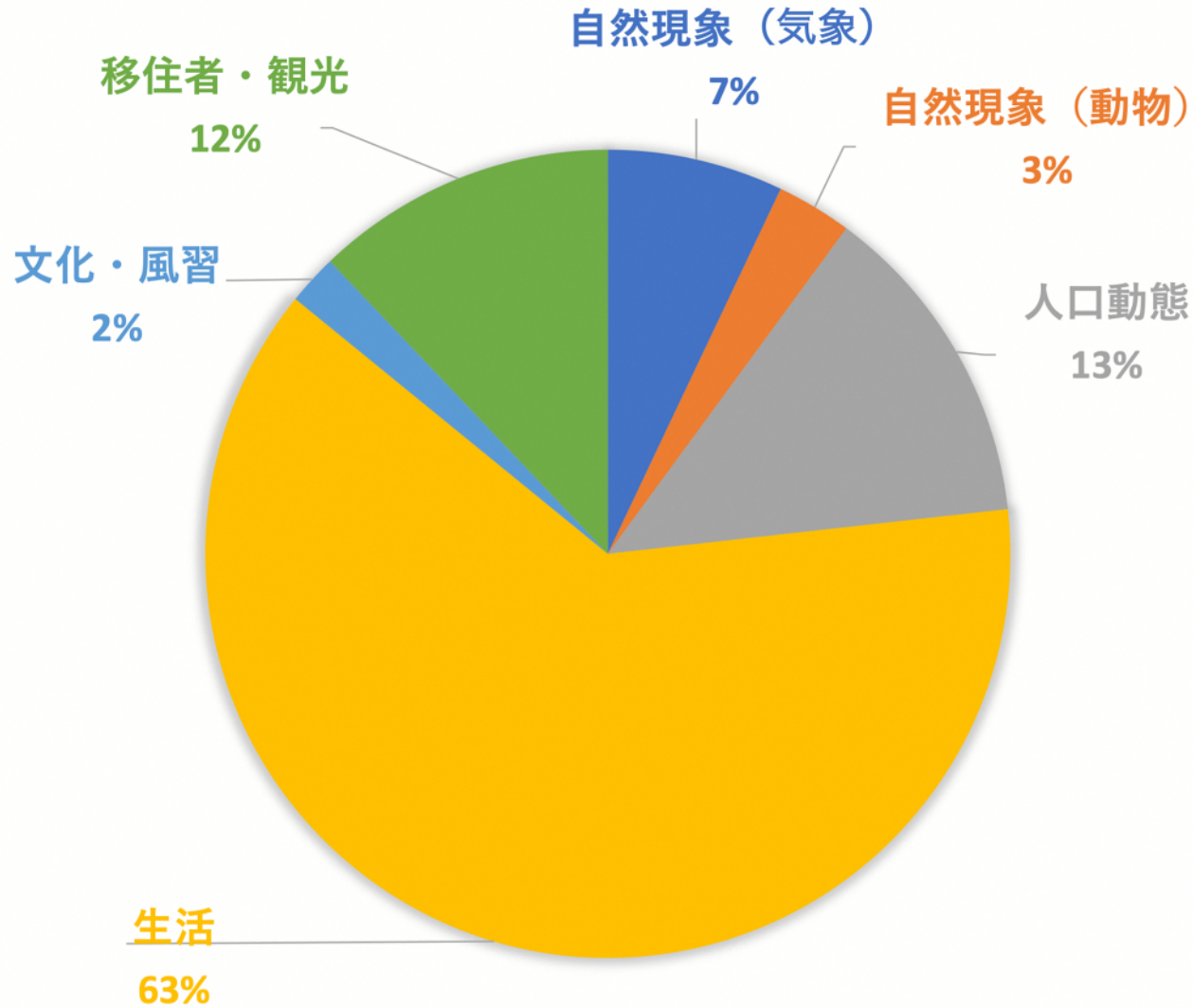
【ポイント②】

定量的に件数が多い課題は「**話題性が高い**」ので地域における共通性や重要度が高いと判断できる反面、ワークショップ参加者個人の発言力や発信力にも影響を受けるので「**件数が少ない課題にも本質的な課題が潜んでいる**」ことも解釈するポイントとなる。

(課題は「**声無き声**」の中に解決のヒントが隠されていることも多いので少数意見や表出化していない課題にも注目をしていくことが重要)

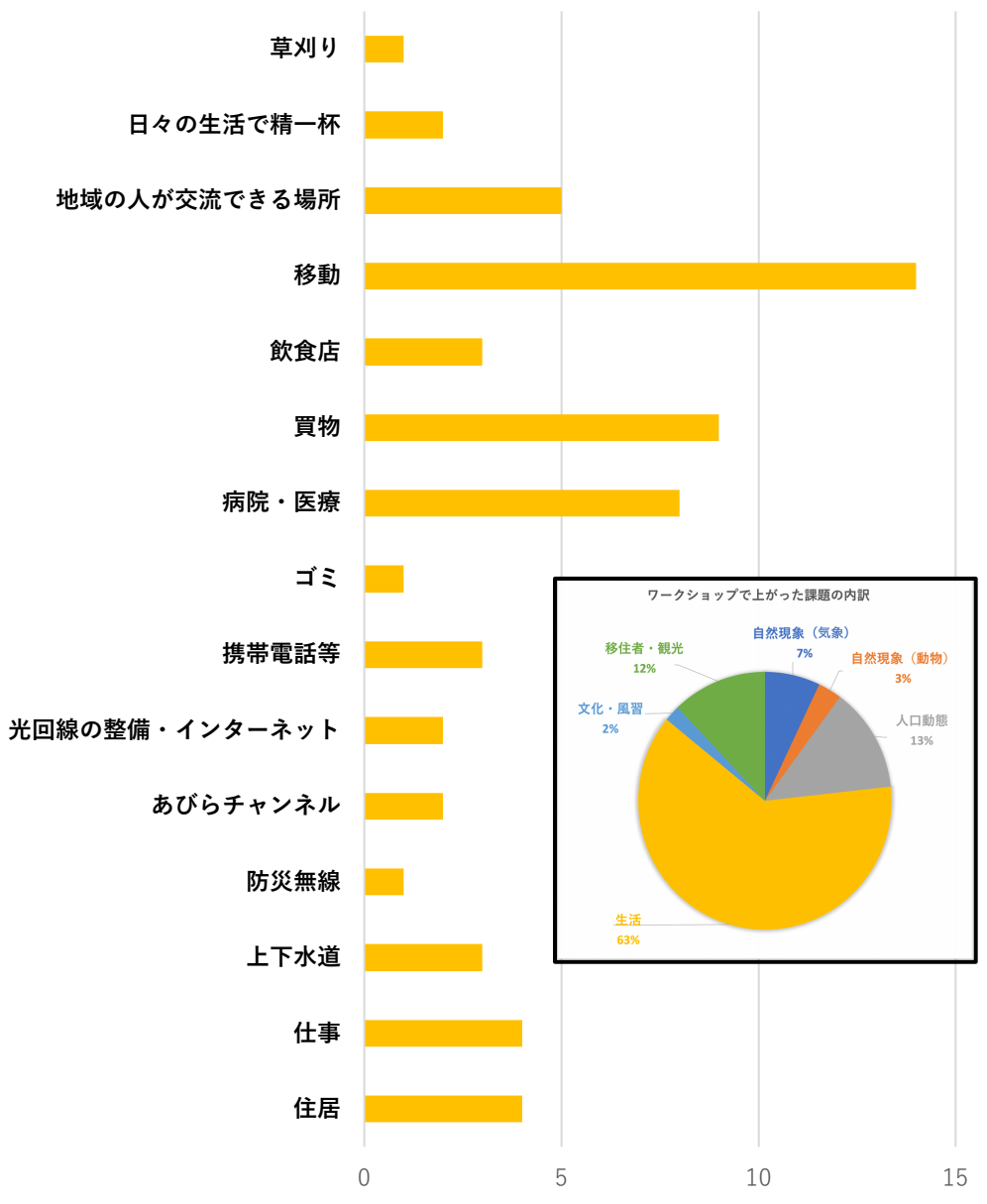


ワークショップで上がった課題の内訳



生活	63%
人口動態	13%
移住者・観光	12%
自然現象（気象）	7%
自然現象（動物）	3%
文化・風習	2%

生活に関する課題（63%）の内訳



《課題の内容》

【草刈り】家の周辺の草刈りが大変

【日々の生活で精一杯】各種手続きが大変、年齢を重ねると自分のことで精一杯

【交流できる場所】集まる機会と場所がない、市街地と農村住民の交流がない（※移住者の項目でも同じ課題があり）

【移動】移動手段がない、代行サービスがない、ハイヤーが少ない、デマンドバスが使いにくい

【飲食店】飲食店が少ない、出前がない

【買物】地元に商店やスーパーがない、コンビニが少ない、品数が少ない、買物が大変、食料品以外の買物が困る

【病院・医療】安平町に入院施設がない、相談窓口がない

【ゴミ】ゴミステーションが遠い

【携帯電話】スマホ、電子マネー、マイナンバー分からない、スマホの使い方が分からない

【あびらチャンネル】農村地区はエリア外が多く見れない

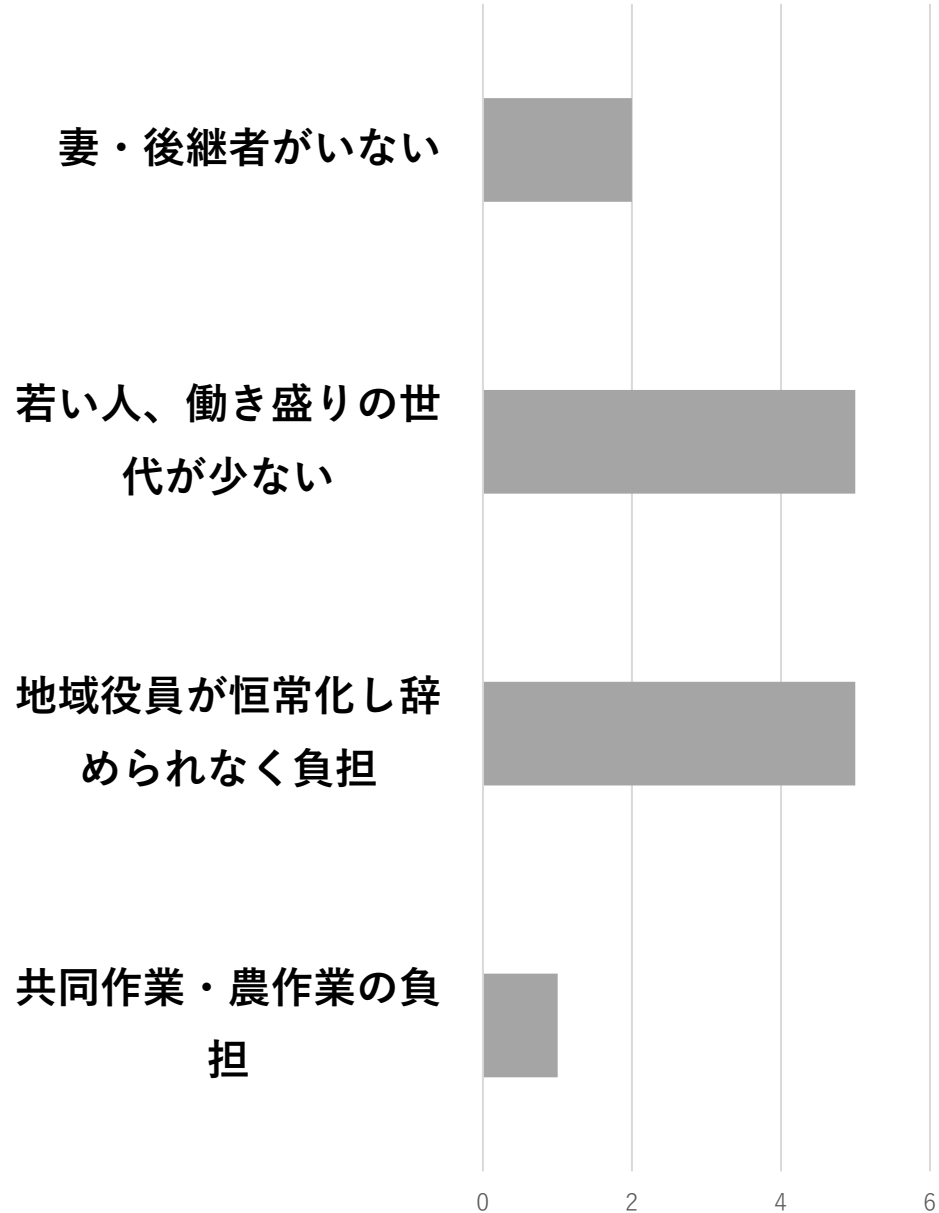
【防災無線】聞こえない

【上下水道】井戸水を使用、下水も未整備

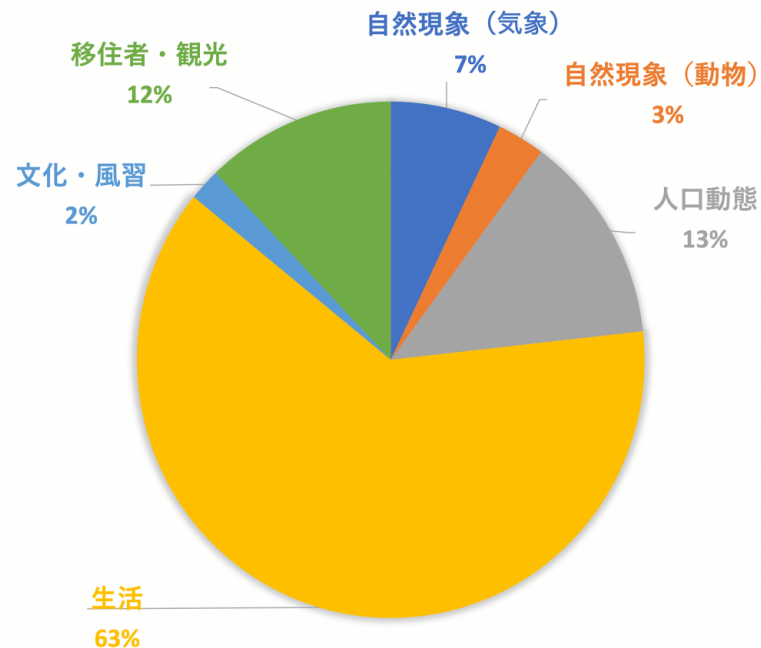
【仕事】安平町、安平地区に働く場所がない

【住居】農村部の広い家での生活に不安、アパートなどが無い、空き家問題（※移住者の項目でも同じ課題があり）

人口動態に関する課題（13%）の内訳



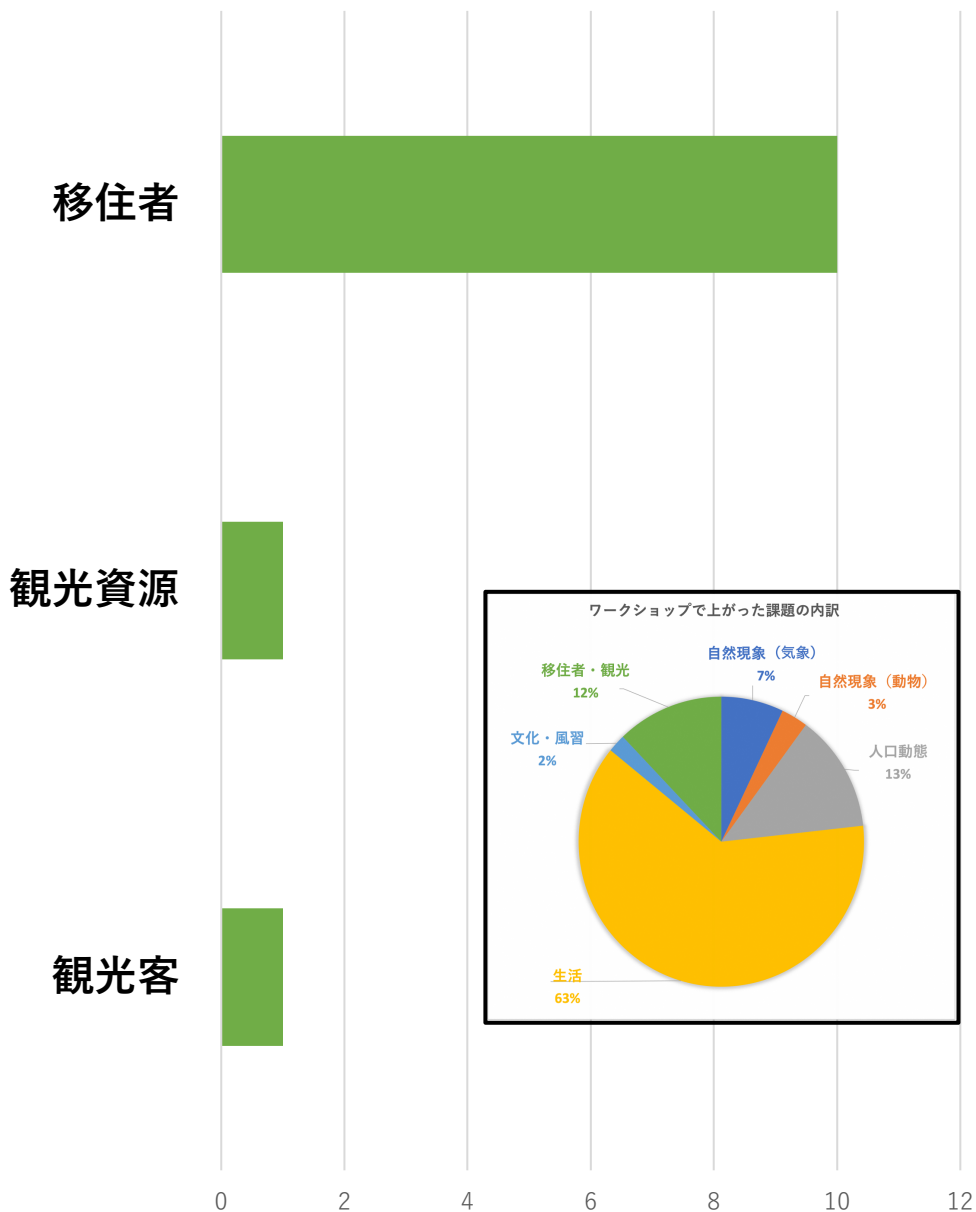
ワークショップで上がった課題の内訳



《課題の内容》

- ・妻・後継者がいない
- ・若い人、働き盛りの世代が少ない
- ・地域役員が恒常化し辞められなく負担
- ・共同作業が出来なくなり農作業が負担
- ・役職（会）が多い、なり手がいない
- ・活気がないし盛り上がらない
- ・消防団等地域の役割も人手不足

移住者・観光に関する課題（12%）の内訳



《課題の内容》

【移住者】

- ・ 移住、体験、観光客が少ない
- ・ 受け入れる環境がない（家など）
- ・ 地域住民と移住者の確執がある
- ・ 地域住民と移住者の交流がない
- ・ 繋がれる場所がない
- ・ 自治会に入らない

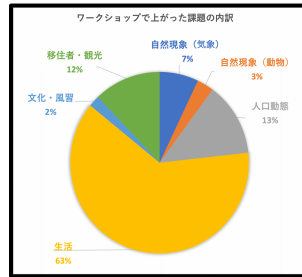
【観光資源】

- ・ 観光資源が少ない
- ・ 安平地区に立ち止まることがない

【観光客】

- ・ 観光者は歓迎するがマナーが悪く
家畜（牛）への感染症が怖い

自然現象 動物 (3%)
 自然現象 気象 (7%) の内訳



自然現象 (動物)

鹿・アライグマの被害

自然現象 (気象)

雪・除雪・路面

0 2 4 6 8

《課題の内容》

【動物】

- ・ 農作物の被害が出ている
- ・ 車両事故が起きている

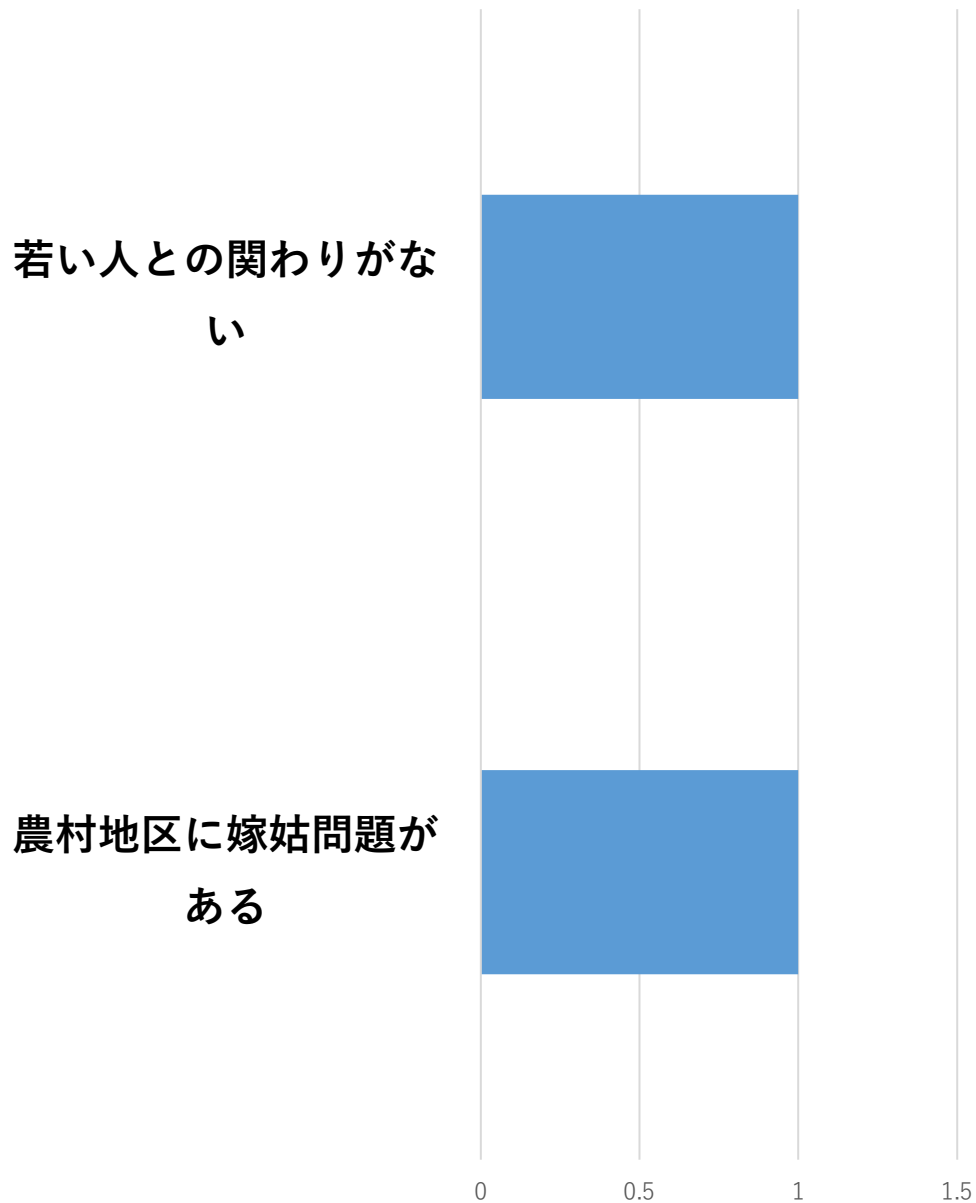
【除雪】

- ・ 除雪作業が大変
- ・ 除雪車が置いていった雪が重い
- ・ シルバーの人材不足
- ・ 地区で除雪の基準が違う
- ・ 除雪にくる時間が遅くなっている
- ・ 業者の人手不足で対応が遅くなっている
- ・ 農村地区はトラクターで自力で行うが高齢で運転が大変、事故への不安

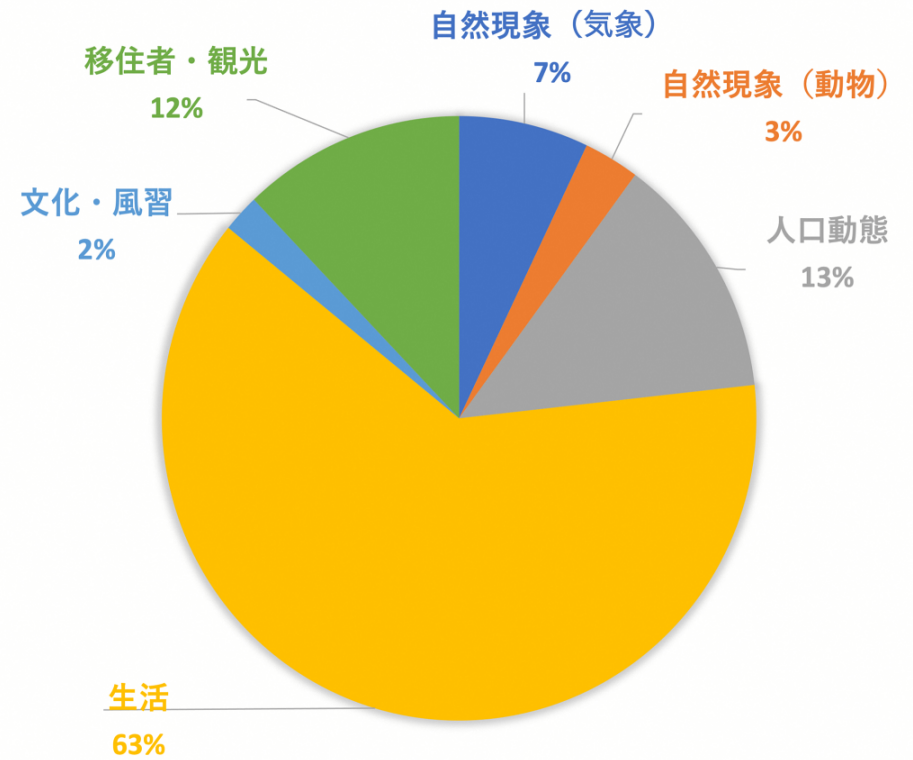
【路面】

- ・ 同じところに吹き溜まりが出来て車がスタックする
- ・ 道路がブラックアイスバーンになる

文化・風習（2%）の内訳



ワークショップで上がった課題の内訳



《課題の内容》

- ・ 嫁世代が地域の行事を楽しめない
- ・ 昔と違い世代間で確執がある

安平地区に「必要なこと」「もの」「あったらいい」

雪	<ul style="list-style-type: none"> ・防雪柵を設置して欲しい
住 宅	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の共同住宅が欲しい ・空き家の活用で賃貸を増やす
仕 事	<ul style="list-style-type: none"> ・職業訓練、語学学校、有機農業、タクシー運転養成などの講座があるといい ・地元には大きな産業が欲しい
上下水道	<ul style="list-style-type: none"> ・上下水道を整備して欲しい
インターネット ・携帯電話	<ul style="list-style-type: none"> ・サポートしてくれる人が欲しい ・高齢者のサポートが必要
買 物	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパー（マックスバリュースタイル）が欲しい ・出前をする店が欲しい ・食事の選択肢が広がると嬉しい ・新しいお店（カフェ、カラオケ、飲み屋、本屋）

安平地区に「必要なこと」「もの」「あったらいい」

移動	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい交通手段（都会にある電動キックボード） ・タクシーがあると地元にお金が落ちる（飲みに行ける） ・簡単な手続きで乗れるデマンドバスが欲しい ・子供達だけでも町内を移動できるバスが欲しい ・上士幌町で運行を始めた自動運転のバスが欲しい
J R	<ul style="list-style-type: none"> ・階段のないホームになるといい
道路	<ul style="list-style-type: none"> ・安平と千歳を直接繋ぐ新しい道路が欲しい
交流	<ul style="list-style-type: none"> ・気軽に集まれる定期的なサロンがあると嬉しい ・日頃から一緒に楽しめる場所が欲しい ・高齢者から子供が気軽に楽しめるイベントが必要 ・婚活イベントがあるといい ・安平地区の人はフレンドリーなので人のつながりを大切にしながら笑いの絶えない環境づくり ・気軽に立ち寄れる場所（ワーキングスペース、足湯施設）
日常生活	<ul style="list-style-type: none"> ・手続きに明るい人が身近にいると安心するし必要 ・若者を引き入れる必要がある

安平地区に「必要なこと」「もの」「あったらいい」

<p>移住者・観光</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・馬の町を活用したイベントや公園づくり、引退馬の活用 ・婚活イベントなどの人を増やせる取り組みが必要 ・移住者への手厚い支援、呼び込む取り組みが必要 ・空き家、分譲地など住居の確保が必要 ・人を誘致できるようなアパートや家があればいい（水洗トイレ完備） ・働く場所の確保、リモートワークのオフィス用意 ・安平のことを客観的な視点で捉えられる町外の人アイデア ・お互いの強みを活かせる取り組みが必要 ・カフェ（wi-fi、充電スペース）が欲しい
<p>まちづくりの方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昔は生活に必要なもの（飲み屋、訪問診療、集会等）があったが、昔のものがなくなり問題が発生している ・古いものを大切にしながら新しいものを取り入れ今あるものをアップグレードすることで、安平地区の既存の考え方と移住してくる人達の考え方の距離感を縮めることができる ・先進技術を取り入れるのもいいが、高齢の方が取り残されないようにしたい ・ゴールは、利便性よりも皆が安心して生活できる町にしたい ・全体の問題だけではなく個人の問題も解決できる取り組みが欲しい

安平地区に「必要なこと」「もの」「あったらいい」

安平小学校
の利活用

- ・ 地域内、外の人が交流できる場にしたらいい
- ・ ホテル、アパートへの活用
- ・ ユースホテル、田舎の宿、サウナ、宿泊施設
- ・ 生活が不安になった時に使えるシェアハウス
- ・ 料理教室（鹿料理とか専門的な）
- ・ 地区の中心にあり印象が寂れていくので早めに活用したほうがいい
- ・ 水族館や動物園として活用する
（馬、羊、鹿とのふれあい体験、羊の毛刈り体験、昆虫館…冬の来客も見込める）
- ・ 学習施設として活用（スマホ教室、タクシードライバー養成学校、習い事教室等）

これはあくまでも「活性化プラン」のイメージです。今後、地域運営組織等において、地域実情を踏まえながら総合的に検討していきます。

安平地区協働コミュニティ圏活性化プラン（素案）

3か年計画（R5からR7まで）

事業分野	地域の課題	交付対象事業年度（R5年度＝1年目）	2年目－3年目	目標（将来像）
生活支援、安全安心の確保等 （生活、気象、動物）	地域内外の交流が少ない。 ・集まる機会と場所がない。 ・若い人との関わりが少なく、世代間ギャップが広がっている。 ・市街地と農村地区の交流が少ない。 ・少子高齢化で日々の生活が大変。 ・エゾ鹿等による農作物被害が深刻。	◆公民館を拠点とした住民交流 * 交流拠点として公民館を活用し、子どもから高齢者まで、住民同士が気軽に楽しく交流できるサロン活動や健康づくり教室等の実施 * 子どもや高齢者の見守りのほか、住民同士の交流の場として地域食堂や農産物直売所等の実施 * 子どもの居場所づくりのほか、多様な学習・体験等を含めた子育て・教育支援の提供の場として放課後子ども教室等の実施 ◆暮らしのサポート対策 * 暮らしのちよつと困り（買物・通院・公共交通・除雪・草刈り・ゴミ捨て・スマホ・インターネット、手続き等）対策の調査・研究 ◆環境生活への総合対策 * エゾ鹿・アライグマ等の被害防止対策の検討	◆公民館を拠点とした住民交流 * 前年の継続 ◆防災・防犯対策 * （新規）防災見守りマップ等の作成 ◆暮らしのサポート対策 * サポート対策の事業化 →（例）買い物バスツアー →（例）有償ボランティア制度 ◆環境生活への総合対策 * 前年の継続	
交流・活性化の促進 （移住者・観光、生活、人口減少）	移住者や観光客を受け入れる環境がない。 ・空き家対策が不十分。 ・後継者や役員等の担い手（人）不足。 ・移住者と地域住民の交流機会がない。 ・観光資源が少ない。 ・飲食店が少ない。 ・若者が働く場所がない。	◆移住・交流の促進 * 空き家等活用体制（所有者の意向把握等）を整え、移住（就業）希望者に向けた情報発信や相談活動の実施 * 婚活イベントや田舎暮らし体験ツアーなど、移住者を増やす取り組みの実施 * 転出した安平小卒業生や安平地区ファン等といった関係人口の方々との交流イベントの実施 * 地域資源を客観的に捉え、その強みを生かした観光メニュー・交流イベントプログラム等の開発 * 地域の賑わいづくりの場として、カフェ店舗兼ワーキングスペース等の整備検討	◆移住・交流の促進 * 前年の継続 * （新規）安平地区町民の集いのリニューアル →（例）キッチンカー等を招いたイベント化	
閉校活用	安平小学校がR4年度に閉校するので早めに活用したい。 ・閉校になると、地域の印象がさびれていく不安がある。 ・地域内外の人々が交流できる施設がいい。	◆閉校活用対策 * 先進地視察の実施を通じた活用方策の調査・研究 <アイデア～地域内外の人が交流できる施設> →アパート等の住宅施設（高齢者共同などのシェアハウス） →田舎の宿（ユースホテル）、サウナ付きキャンプ等の宿泊施設 →馬・羊・鹿との体験型（羊毛刈）動物園、水族館、昆虫館 →職業訓練や学習施設（語学、有機農業、タクシー運転養成、調理・加工など）	◆閉校活用対策 * 活用対策の構想づくりに向けた具体的な検討 <構想づくりの考え方> ※左記のような各種アイデアの検討や絞り込みを行い、安平地区に適した実現可能性の高い活用方策を構想としてまとめる。	

◆その他（行政等に要望したい地域課題など）

- * 暴風雪には必ず吹だまりができて、自動車がスタックするなど立ち往生する場所への防雪柵を設置してほしい。
- * J R 安平駅ホームの通路橋の往来がヒザが悪く大変なので、昔のように線路を横断できるようにしてほしい。
- * 安平地区と千歳市を直接つなぐ、道路がほしい。（自衛隊用地の中を横切っていく道路～昔は遊歩道として利用していたとのこと。）
- * 上土幌で運行を開始した自動運転式のバスがほしい